

# 令和4年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 5

千葉県立京葉工業高等学校 全日制の課程

機械科 電子工業科 設備システム科 建設科

## 1 期待する生徒像

次のア～エの要件を満たす者

- ア 当該学科を志願する理由が適切で、将来の目標が明確な生徒。
- イ 人物に優れ、工業高校生として安全に対して意識を持ち、意欲的に生活・学習できる生徒。
- ウ 中学校生活等において、特に積極的な取組やスポーツ活動、文化活動等において優れた実績のある生徒。また、入学後も継続してその活動に取り組む意志があること。
- エ 高校生として相応しい、服装、頭髪、態度等を備えている生徒。

## 2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査 (自己表現)	口頭による自己表現（日本語） 志望動機に加え、これまで自分が力を入れてきたことやその成果などについて、自己に関する事柄を口頭のみで発表する。 作品、実演、機材や道具の持ち込み及び使用は認めない。  実施形態：個人での発表 検査時間：発表する時間は3分間

## 3 評価項目及び評価規準

### (1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科の得点（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	10点未満の教科がある場合には、審議の対象とする。

### (2) 調査書〔175点満点〕

アの数値に、イ・ウを除き、エ～カについて加点(上限40点)したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値にK=1を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間で欠席が30日以上の場合、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録	学級活動、生徒会活動、学校行事等の活動において、優れた実績等については、10点を上限として加点する。
オ 部活動の記録	部活動等の取組や実績については、15点を上限として加点する。 3カ年同一部活動又はクラブ継続者については、5点を加点する。
カ 特記事項	取得資格等の実績については、10点を上限として加点する。
キ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

**(3) 学校設定検査（自己表現）〔100点満点〕**

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。アはaを30点、bを10点、cを1点、イ・ウはaを10点、bを5点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各50点満点）を合計し、得点化する。ただし、評価cが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 意欲・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>志望動機を具体的に伝えようとしている。</li> <li>将来の目標を明確に伝えようとしている。</li> <li>発表内容が分かりやすい。</li> <li>発表に意欲的に取り組もうとしている。</li> </ul>
イ 話し方・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>わかりやすい言葉づかいで話そうとしている。</li> <li>内容をわかりやすく表現しようとしている。</li> <li>日本語の能力は問題としない。</li> </ul>
ウ 身だしなみ・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>服装に問題がない。</li> <li>頭髪に問題がない。</li> <li>発表の態度に問題がない。</li> <li>入室・退室・椅子の座り方に問題がない。</li> </ul>

**4 選抜方法**

**(1) 選抜の方法**

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（自己表現）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定（K=1）	加点	自己表現	
500点	135点	40点	100点	775点

**(2) その他**

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

**5 その他**

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。